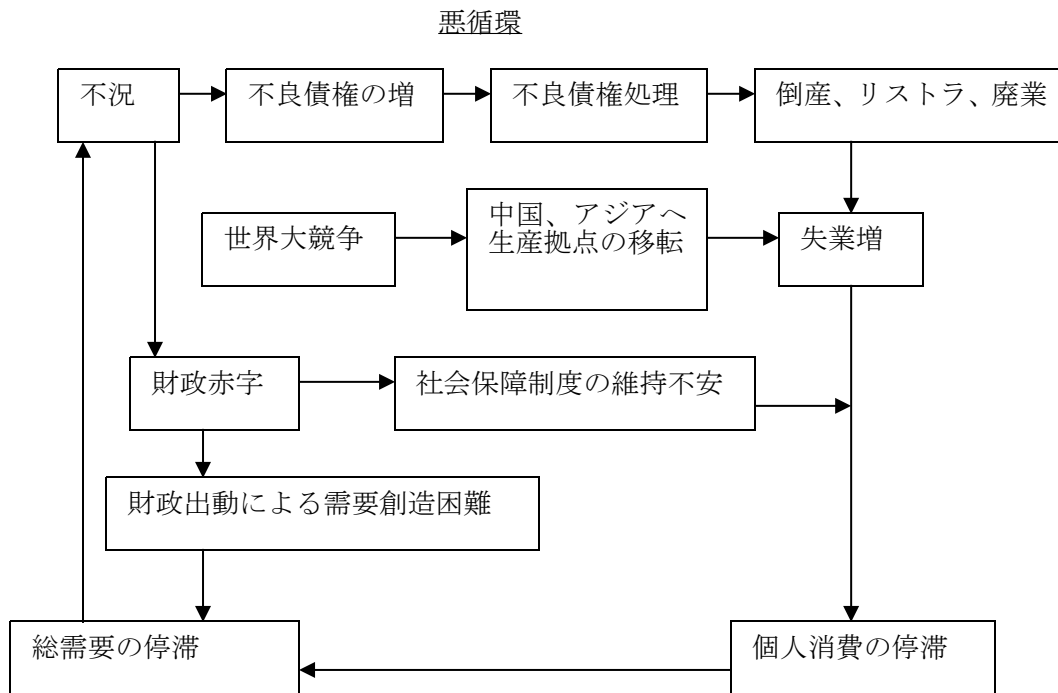


経済の悪循環から好循環への転換

2004/8/20 市吉 修

1. 経済の悪循環の構図



2. 問題の根は何か

2.1 世界市場の変化に立ち遅れ

(詳細略)

2.2 起業力の弱体化

- a. 廃業数 >> 創業数
- b. 低金利でも借り手が無い。

前世紀の企業の主体（利益の源泉）は製造部であったため戦後事業部制度を採用した多くの企業は現在に到るまで開発部にもライン組織（作業中心）を当てはめている。ところが開発部は仕事の性質上スタッフ組織（課題中心）でなくてはならない。そのため激変する市場の動きに遅れをとる事が多い。更に現在は製造専門企業（EMS）の発展により事業展開にはますます起業と開発の重みが増している。**製造業から創造業への転換**が必要である。そのような企業として**実行団型企业**を提案する。（詳細は省略）

2.3 技術開発力の弱体化

国内経済の停滞の原因は結局これに尽きると思います。

過去 20 年間の **C&C** 分野の技術 Break-through

	CPU	OS	言語	応用	通信	DSP	産業
日	V シリーズ	第五世代 コンピュ ータ TRON		Hi- vision【NH K】 一太郎花子 ALADDIN → StarOffice	PDC i-mode	NEC (77xx)	
米	<u>Intel</u>	Basic Apple MS-DOS <u>GUI</u> <u>UNIX</u> <u>Windows</u>	Fortran Co bol Ada Pascal Small- talk <u>VBasic</u> <u>HTML</u> <u>JAVA</u> <u>C,</u> <u>C++</u>	<u>HTTP</u> <u>WORD/</u> <u>Excell</u> <u>GPS</u>	ARPANET → <u>Internet</u> SNA【IBM 】 DAMPS	<u>TI</u>	<u>CALS</u> <u>EMS</u> <u>WBT</u>
欧	Inmos,	<u>Linux</u>		EBU	<u>WEB</u> <u>GSM</u>		Euro
ITU				<u>MPEG</u>	x.25, x.40 0	-	-

注) 黒字下線は現在世界の主流となっているもの。

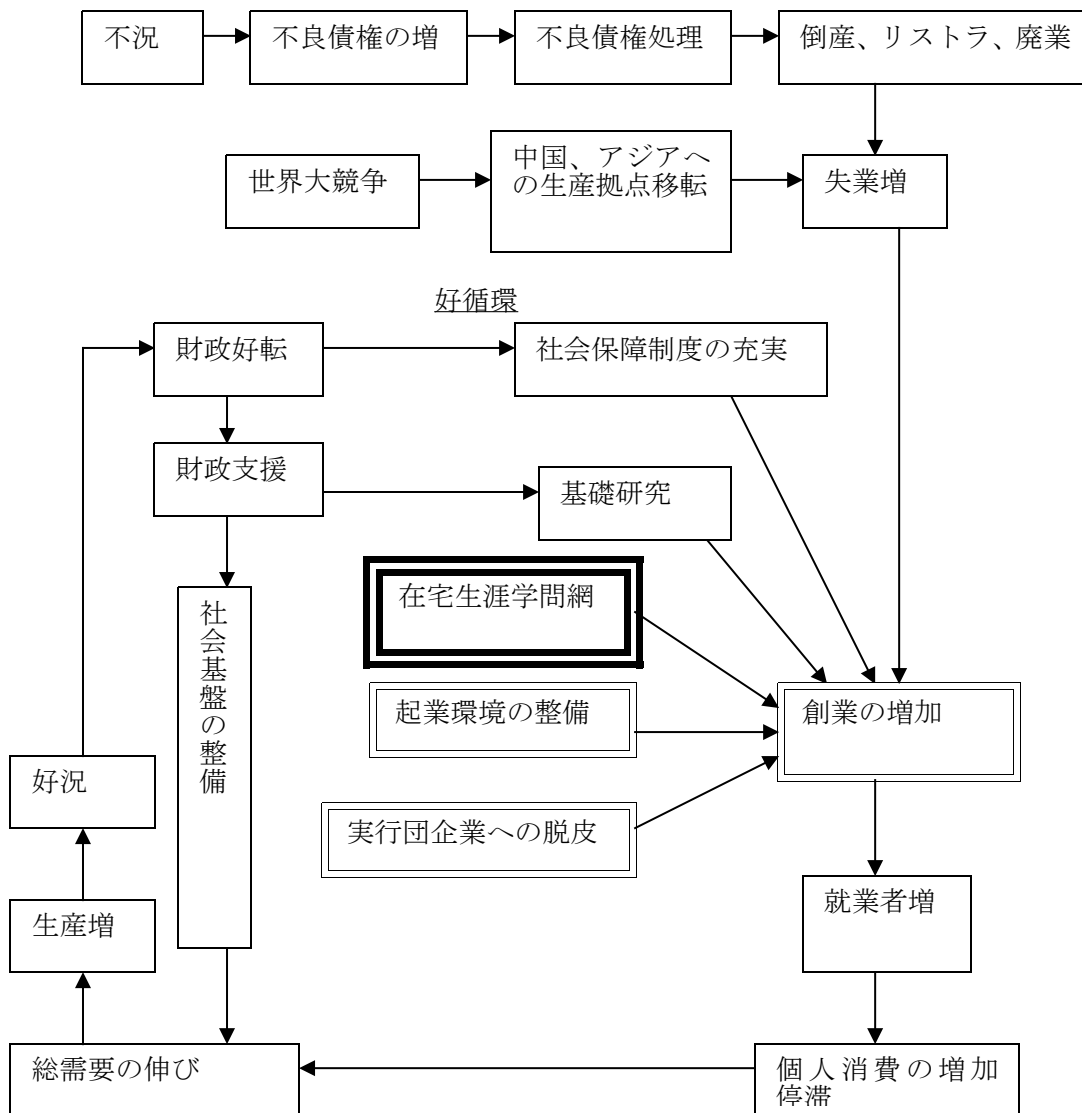
注) 我が国の 1960-70 年代の高度成長を支えたのは NHK の Project-X でも取り上げられた数々の日本発の技術 Break-through (VTR, 魚群探知機、Computer, 電卓、Quartz 時計、トランジスターラジオ、テレビ、マイクロ波通信、その他多数) であった。

3. 二十一世紀企業への脱皮

通信網と交通網の発達によって売り手と買い手、生産者と消費者が直結される。調査研究、営業提案、開発設計、製造検査、保守点検、顧客支援等あらゆる生産段階においてC&C網を通じて事業家と専門家が有機的に結ばれ、課題の出現と共にそれと取り組む実行団が結成されて活動し目的を達成すると解散する実行団型企業が有力になる。実行団の成果は社内C&C網のData-Baseに蓄積されて次代の事業に活用される。C&C網を活用するCAD/CAM/CATの使用が普遍化し、必要なものが必要な時に最適な所で調達、製造、試験運用される。消費者と生産者、顧客と企業、企業と企業とが有機的に結合されて産業が地域的にも内容的にも高度に発展して行くものと期待される。

(以下詳細は省略)

4 日本新生の実現；悪循環から好循環への転換



日本新生の鍵は何か。

上の好循環を開始させるのは大きな太枠で囲う在宅生涯学問網である。上図の循環の各部は入ったものが出て行くだけで総和を取ると零となる。価値を水に例えるとは高い所から低い所にながれるだけであり、循環するには何処かで低い所から高い所に上げなくてはならない。同様に経済の循環のためには原動力となる価値の創造がなくてはならない。その創造の場こそ学問に他ならない。人を苦しめる問題は学問においては次なる進歩の種となる。人間の苦悩と学問こそ社会発展の原動力であると言えよう。

最大の消費の場である家庭が学問の場になれば、社会的価値の創造力は飛躍的に高まり、新たな段階の経済発展が可能となる。
